

一般質問

◆提案書の「民意」にどう答えるのか ◆近鉄存続への対応を聞く



窪田弘子議員

住民の提案はどうなった

Q 合併の破綻前、町長は「町単独で行く場合、今までのやり方では何年も持たない。」と説明され町民も理解している。今や改革案づくりを進める一方、実行できる事は一刻も早く着手していかねばならない。5月から集められた町民・職員の提案はどう生かされるのか問われている。

A 9月8日迄に町民から400件、職員から240件、意見・提案をいただいた。論点整理をすると約100件。今後12月までかけて順次取り組んでいく。

すでに提案箱の常設、町長の地区座談会等、提案に基づいてやっている。職員の駐車場も8月から月千円取っている。

池田町の新聞報道は少ない

Q 他市町なみに新聞等で情報を出し、改革を目に見えるようにされた

A もっとうまくマスコミを利用していきます。

重ねて近鉄への対応を問う

Q 近鉄が養老線について方針を出す迄二年半しかないというのに、のんびりし過ぎだ。町長は3月、町内3駅に駐車場を提供すると言われて、はや半年、北池野駅は対応された。

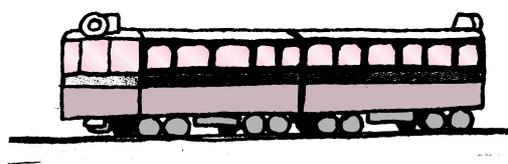
意見・提案(職員)

- 不必要な会議や資料の作成を撤廃し、斬新な政策を競う。
- 職員も住民ニーズ把握のため、地域ボランティア・生涯学習に参加を。
- 環境部門に人員を回してもらえば住民サービスがもっとできる。
- 職員配置を適正に。
- 職員同士で行政サービス向上のためプロジェクトチームを作る事を、奨励されたい。
- 下水道フェアを開催する。

提案箱(町民)

- 歳出を徹底して見直し、英断を持って実現すべき。
- 行政コスト節減委員会を作る。
- 任意団体への補助金は、しっかり審査してから。
- 議員定数・報酬をカットする。
- 簡単な公共工事は工具を貸し出し、ボランティアで。
- 職員の採用は、民間の人事担当に委託。
- 病児保育に取り組んで。
- 池田温泉運営にモニター制度をつくり利用者の声を聞く。

たくさんの貴重なご意見・ご提案の、ほんの一部です。



A 大切さは重々わかっている。

ただそれだけ。町内3駅で1日の乗降客2千人、5駅も町民は利用できる。そんな幸せを「失ってから知る」事のないように。近鉄が血の滲む経営努力の末の赤字14億、沿線7市町だから当町も約2億円もらっている事になる。乗客を少しでも増やすよう知恵を絞るべき。